

# 第1回・第2回会合で検討した、主な課題、今後の取組の方向性

|          | 課題                                | 今後の取組の方向性   |
|----------|-----------------------------------|---|
| シェールガス輸送 | 通航料金の透明性・安定性の確保、合理的な通航要件、計画的な工事進捗 | パナマ側との対話の枠組み  |
|          | LNG船の受注確保                         | 大型タンク船、省エネ船、周辺資機材等への技術開発支援                                    |
|          | 船舶調達リスクの軽減                        | 輸出許可取消(リボケーション)に対する保険によるリスクヘッジ(長期傭船契約の下で建造した船舶に係る用船料支払い停止リスク) |
|          | 船員逼迫への対応                          | 乗船経験や資格保有が重視されるLNG船員の確保・養成支援                                  |
|          | LNG船国内入港手続き                       | 包括承認による個別審査の迅速化・合理化   |
| 北極海航路    | 航路の円滑な利用                          | 航行条件、避難・補給港整備等に関する透明性の確保                                      |
|          | 北極海特有の事情を勘案した安全対策                 | IMOにおける船舶安全基準(Polar Code)、船員資格策定への参画                          |
| 液化水素輸送   | 世界初となる液化水素輸送の安全対策                 | 我が国主導で国際基準を策定し、先行者利益を獲得                                       |
|          | 輸送船の開発                            | 2020年頃までの運用開始を目指したパイロットプロジェクトの推進                              |